

・学校の概要(平成15年4月現在)

学校名	福田町立福田小学校								
学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数
学級数	5	5	4	5	4	5	1	29	38
児童数	177	162	152	175	154	166	3	989	

・研究の概要

1. 研究主題(テーマ)

「対話」を深め 自分の学びを育てる子

2. 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

算数：1学年では、福田町独自の制度である「学校支援員」補助による授業を実施。 2学年では、県よりの補正教員1名をTT担当としたTT指導を実施。 3学年から6学年では、次の表のように少人数指導を実施した。	学年	算数少人数指導グループ編成の仕方
基盤となる学力をつける上で重要な教科であること。段階をひとつひとつ踏んでいかなければ身に付かない教科であるため、子供の理解や内容の定着に差がでやすい教科であることからきめ細かな指導による確かな学力をつける上でふさわしいと考えた。 また、窓口を絞ることで研究の深まりを図ること、加配や補正の教員数などから算数科に絞った。	3年	1・2組を3グループの習熟度別編成 3・4組を3グループの習熟度別編成
	4年	1・2組を3グループの習熟度別編成 3～5組を5グループの習熟度別編成
	5年	1・2組を4グループの習熟度別編成 3・4組を4グループの習熟度別編成
	6年	1～3組を5グループの習熟度別編成 4・5組を4グループの習熟度別編成

(2) 年次ごとの計画

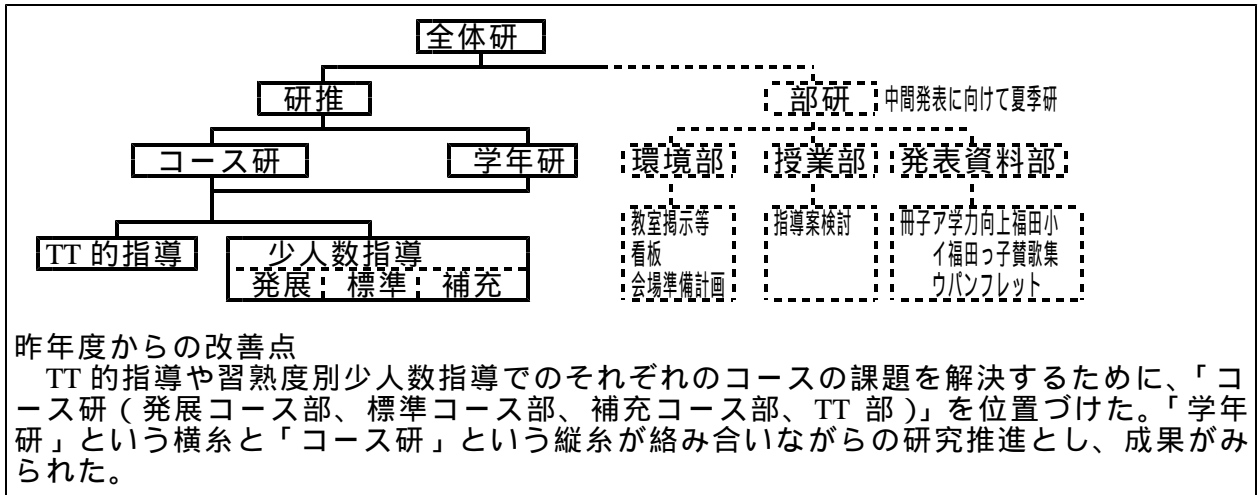
平成14年度	テーマ：「対話」を深め 自分の学びを育てる子 研究の見通し(仮説) 4つの「対話」(「ものとの対話」、「友達との対話」、「教師との対話」、「自分との対話」)を繰り返すことによって、学習内容がその子の腑に落ちていくのではないか。 算数少人数指導の在り方を追究することで、指定3項目に迫ることができるのではないか。 研究内容・方法 教師の力量向上(授業力向上)のために「授業の基礎・基本」研修会を設け、確かな授業の在り方を確認する。 算数少人数指導については、習熟度別編成によって、発展教材(発展コース)や補充教材(補充コース)の開発を行う。 少人数指導・TT指導経営案によって、どの単元で、どのように行うのかの計画を立て、見通しをもって実施する。 「みとり」を生かした指導事例を「福田っ子賛歌集」としてまとめ、個に応じたきめ細かな指導の推進及び保護者への理解を深めるものとする。
--------	--

平成15年度	テーマ：「対話」を深め 自分の学びを育てる子 研究の見通し(仮説) 4つの「対話」を繰り返すことによって、学習内容がその子の腑に落ちていくのではないか。 少人数の各コースの在り方を追究することで、指定3項目に迫ることができるのではないか。 研究内容・方法 算数少人数指導、TT指導の在り方に絞り、発展コースや補充コース、標準コースの指導の在り方を追究する。
--------	---

平成
16
年度

テーマ：「対話」を深め 自分の学びを育てる子
研究の見通し（仮説）
算数科少人数指導各コースの課題を解決する「指導の技」によって、十分な「対話」を図り、「確かな学力」の向上につながるのではないか。
研究内容・方法
平成15年度の実施内容を検証・評価し、指定3項目に向けた深まりのある取り組みを「学力向上フロンティア福田小プラン」として提案する。

(3) 研究推進体制



平成15年度の研究成果及び今後の課題

1. 研究成果

- 「学力向上フロンティア中間発表会」を実施することで、本校の取り組みを整理し、広げることができた。当日は、400名を超える参加者があり、少人数指導に対する関心の高さを改めて知ることができ、本研究の意義を確認できた。
- 児童に対するアンケート結果及び校内定着度調査の結果をみると、「少人数指導をやるようになって算数が好きになりましたか」では昨年度の49.9%から64.1%と上昇したり、「よく分かりますか」では昨年度の43.2%から49.1%へと上昇したりした。定着の度合いも高まっている。
- 「コース別研修（コース研）」を位置づけたことによって、それぞれのコース独自の課題（発展：発展のさせ方、標準：意見をもつ・言う、補充：定着のはかり方）を解決することに向かい、十分とは言えないまでも解決したと言える。併せて、編制のさせ方から内容面への研修へと進み、教師の授業力向上に向けた研修となってきた。

2. 今後の課題

- 指定3項目をより以上に推進し、「確かな学力」を図る具体的な方策を見だし、授業力を中心とした力量の向上を図ること。特に、TT指導や少人数指導では、年度ごとの教員数の増減によって編制が大きく影響されるので、「編制の仕方」に目が奪われがちであるが、「指導の技」を中心とした「学力向上に直結する授業の在り方」こそをメインとしていくこと。

学力等把握のための学校としての取組

- 学年ごと国語・算数の基礎的な内容についての校内「定着テスト」の実施。（学期末1回）
- 国算「定着度調査」の実施と分析。（年1回1月）
- 算数科「数と計算」領域で学年毎に最低限の習得内容（学力保障内容）を示した「なっとくカード」で習得状況の把握（年度始め及び年度末）

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

ア 学力向上フロンティアスクール中間発表会の実施：11月6日
イ 「学力向上フロンティア手引き書」及び「福田っ子賛歌集」の作成と関係者への配付
ウ 近隣各校の夏季研修会や他県フロンティアスクール校の発表会での本校研究内容の紹介
研究冊子等の送付や発表会でのアンケートをみると、本校の研究内容の理解につながり、また、他校の研修への刺激となっていた。

ホームページアドレス <http://www.wbs.ne.jp/cmt/fukude-es/>
メールアドレス wbs22616@mail.wbs.ne.jp

~~~~~  
次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること（複数チェック可）

- |                      |                            |                   |            |          |
|----------------------|----------------------------|-------------------|------------|----------|
| 【新規校・継続校】            | 15年度からの新規校                 | 14年度からの継続校        |            |          |
| 【学校規模】               | 6学級以下<br>13～18学級<br>25学級以上 | 7～12学級<br>19～24学級 |            |          |
| 【指導体制】               | 少人数指導<br>一部教科担任制           | TTによる指導<br>その他    |            |          |
| 【研究教科】               | 国語<br>生活<br>体育             | 算数<br>音楽<br>その他   | 社会<br>図画工作 | 理科<br>家庭 |
| 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】 |                            | 有                 |            | 無        |